

## 東京都低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器認定委員会（令和7年度第1回）議事録

1 日時 令和7年6月17日 午前10時から12時15分まで

2 場所 WEBによるオンライン会議

3 出席者

（委員）津江委員長、上道委員、小林委員、納富委員、松村委員

（東京都）名取課長、足立課長代理、池上主事

4 議題

（1）委員の選任について

（2）低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器認定申請の状況

（3）低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器の認定審査

（4）その他

5 議事

○足立課長代理 では、定刻になりましたので、ただいまから令和7年度第1回東京都低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器認定委員会を始めさせていただきます。

会議の進行について、委員長に引き継ぐまでの間、本会議の進行を務めます、私、事務局の東京都環境局環境改善部大気保全課（大気担当）の足立でございます。

本日は、委員の皆様全員にご出席いただいております。

さて、議事に入る前に、本日の会議についてご説明させていただきます。

この会議は、低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器認定委員会の組織及び運営に関する要領第7の規定に基づきまして、公開いたします。ただし、議事（3）の低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器の認定審査については、東京都情報公開条例第7条第3項に係る案件となりますので、非公開といたします。

本日、傍聴者の方がいらっしゃいます。議事（3）に入る前にご退室いただきますので、ご了承ください。

また、同要領第8の規定に基づき議事録を作成し、東京都情報公開条例第7条各号に掲げる非開示情報に該当する部分を除き、原則として公開しますので、お含みおきください。

開会に当たりまして、東京都環境局環境改善部大気保全課長の名取より、一言ご挨拶させていただきます。

○名取課長 皆さん、おはようございます。

本日は、お忙しい中、東京都低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器認定委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、委員が改選されて最初の認定委員会となります。今回ご就任いただいた委員の皆様全員、前回から引き続きのご参画をいただくこととなります。改めまして、よろしく願いいたします。

さて、東京都は今年3月の末に、2050東京戦略というものを策定しております。こちらは、2050年代に目指す東京の姿、ビジョンを実現するために、2035年に向けて取り組む政策を取りまとめた都政の新たな羅針盤となります。この中で、PM2.5や光化学オキシダントなどの大気汚染対策は、気候変動対策等と並んで主要な施策として位置づけられております。

また、同じく3月には、ゼロエミッション東京戦略Beyondカーボンハーフというものを策定しておりまして、こちらは2035年までに温室効果ガス排出量を60%以上削減するなどの新たな目標を設けておりまして、その達成に向けた個別目標を設定しております。この新たな前略においても、低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器認定制度、今回の制度は、大気汚染対策とCO<sub>2</sub>対策を同時に進められる取組として挙げられております。

このように、本制度は引き続き、都の大気汚染対策、気候変動対策において重要な取組と位置づけられております。本制度を着実に運用しまして、環境性能の高い機器の開発や導入を促進していきたいと考えておりますので、引き続き委員の皆様のご協力をいただけましたら幸いです。

本日の認定委員会では、冷温水発生機1型式、ガスヒートポンプ1型式の認定審査などを予定しております。委員の皆様におかれましては、認定機器に関する審査等につきまして、技術的・専門的観点からご議論いただきましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

○足立課長代理 続いて、ウェブ会議の注意事項を3点申し上げます。

1点目、資料は情報セキュリティ対策のため、画面には映写できません。別途郵送して

おりますので、そちらをご確認ください。

2点目、会議中は音声をミュートにさせていただき、ご発言の際はミュートを解除してご発言ください。

3点目、会議中に音声が聞こえづらいなど不具合がございましたら、随時、事務局までお知らせください。

以上です。

さて、今回、委員が改選となりました。皆様、前期からの継続就任ではございますが、改めてお手元の名簿により、名簿順に本委員会の委員をご紹介します。

時間の関係で、お名前だけの紹介とさせていただきますことをご了承ください。

まずは、上道委員でございます。

続きまして、小林委員でございます。

続きまして、津江委員でございます。

続きまして、納富委員でございます。

続きまして、松村委員でございます。

以上5名の委員の方にご参画いただいております。

東京都におきましても、本年4月に人事異動がございましたので、都の職員をご紹介します。

先ほどご挨拶させていただきましたが、昨年度に引き続き、東京都環境局環境改善部大気保全課長の名取でございます。

○名取課長 よろしくお祈いします。

○足立課長代理 異動してまいりました大気保全課（大気担当）主事の池上でございます。

○池上主事 よろしくお祈いします。

○足立課長代理 最後に、繰り返しとなりますが、私、大気保全課（大気担当）課長代理の足立でございます。本年度も、どうぞよろしくお祈いいたします。

それでは、議事の1つ目、委員長の選任に入ります。

本日は、委員が改選されましてから最初の委員会となりますので、委員長を選任したいと思ひます。

低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器認定委員会の組織及び運営に関する要領第3第2項では、認定委員会に委員長を置き、委員の互選によってこれを定めると規定されております。

この規定に基づきまして、委員の皆様での互選をお祈いいたします。

委員長につきましては、自薦・他薦を問いませんので、ご意見いただければ幸いです。いかがでしょうか。

○松村委員 すみません、同志社大学、松村ですが、発言よろしいでしょうか。

○足立課長代理 はい、お願いいたします。

○松村委員 私のほうから、これまでも委員長として活躍されておられまして、燃焼機器について幅広い知識をお持ちの津江委員が、委員長として適任と思っております。いかがでしょうか。

○足立課長代理 ありがとうございます。

ただいま松村委員から、津江委員を委員長にといったご意見をいただきましたが、皆様いかがでしょうか。

○納富委員 異議ありません。

○足立課長代理 ありがとうございます。

ほかの委員の方はいかがでしょうか。

○小林委員 小林です。異議ございません。

○足立課長代理 ありがとうございます。

○上道委員 上道です。異議ございません。

○足立課長代理 ありがとうございます。

そうしましたら、委員長に津江委員が選出されましたが、津江委員、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

○津江委員 ありがとうございます。謹んでお受けしたいと思います。よろしく願います。

○足立課長代理 ありがとうございます。

それでは、大変恐縮ですが、委員長から一言ご挨拶をお願いしたいと思います。よろしく願います。

○津江委員長 ただいまご推薦いただきました津江でございます。

前期から引き続いて、また委員長を務めさせていただきます。

この認定の活動というのは、随分長いことされておられるようでございますけれども、改めてカーボンニュートラルとか大気保全という観点から、非常に重要な活動だというふうに考えております。

昨今、技術的な開発とか、いろんな開発状況、開発事情といったようなものがあって、な

かなか以前に策定された規則等々も、またちょっと時代にそぐわない感じもするところではございますけれども、皆様におかれましては、引き続きご協力いただければと思っております。よろしくお願いいたします。

以上です。

○足立課長代理 ありがとうございます。

それでは、これ以後の進行は、津江委員長にお願いしたいと思います。

委員長、どうぞよろしくお願いいたします。

○津江委員長 よろしくお願いたします。

お忙しいところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

それでは、早速議事のほうに入らせていただきます。

議事（２）の低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器の認定申請の状況について、事務局のほうからご説明をお願いいたします。

○池上主事 それでは、資料1について、池上のほうからご説明させていただきます。

こちらは公開資料になりますので、画面のほうにも共有をさせていただきますので、少々お待ちください。

画面のほうは共有できておりますでしょうか。ありがとうございます。

こちらは、東京都低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器認定申請の状況というところで資料を用意してございます。

1 ページ目には、申請があった機器の代表型式数を記載しております。今回は、小型ボイラー類として1機種、内燃機関類から1機種の計2機種の申請をいただいております。

小型ボイラー類につきましては、ガスを燃料とした冷温水発生機となりまして、認定のグレードはAに相当するものとして申請をいただいております。

内燃機関類については、ガスヒートポンプとして、グレードAに相当するものとして申請をいただいております。

続いて、2 ページ目に参りまして、申請機器のNO<sub>x</sub>の削減方式についてでございますが、冷温水発生機については、自己循環と火炎分割のバーナーによって低NO<sub>x</sub>化を図るというものになります。

ガスヒートポンプにつきましては、希薄燃焼によってNO<sub>x</sub>を低減させているというものになります。

続きまして、3 ページ目をご覧ください。

こちらは、CO<sub>2</sub>の低減方式についてでございます。

冷温水発生機については、ボイラー缶体の伝熱効率の向上と冷凍サイクルの最適化によってCO<sub>2</sub>を低減させるということで、申請をいただいております。

ガスヒートポンプについては、コンプレッサー台数制御によってCO<sub>2</sub>を低減させるということで、申請をいただいております。

以上が、今回申請のあった2機種の申請の概要となります。

資料1の説明は以上となります。

○津江委員長 どうもありがとうございました。

何かご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次の議事に入らせていただきたいと思いますが、議事(3)の低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機の認定審査については、非公開にさせていただきたいと存じます。

(この間、認定審査のため、非公開)

○津江委員長 それでは、本日の議事は以上となりますので、事務局のほうに議事進行をお返ししたいと思います。

○名取課長 先生方、ありがとうございました。

後半、特に制度に関するご意見いただきまして、本当にありがとうございます。この制度、長年運用していく中で、やはり技術の進歩があつたりですとか、あとメーカーさんの製造戦略が変わってきているというところがございますので、また都の制度ではあるんですけども、国内で広く普及しているという部分もございます。

そういった状況を踏まえて、やっぱりこの制度自体も、メンテナンスというか、より進歩していく必要があるかなというふうに思っていますので、先生方のご意見を踏まえて、また制度自体も検討していきたいと思っております。ありがとうございました。

○足立課長代理 ありがとうございました。

では、最後に、事務局から連絡事項を、池上のほうからご説明いたします。

○池上主事 私のほうから2点ご連絡でございます。

1つ目です。郵送した口座振替依頼書と電子データの入ったCD-Rにつきましては、事務局宛てにご返送をお願いいたします。返送については、同封したレターパックのほうをご利用いただければと思います。

2点目でございます。次回の会議日程につきましては、事務局のほうからメールにて、別途日程表をお送りいたしますので、必要事項を記入してご返信いただければと思います。

連絡事項の説明は以上となります。

○足立課長代理 では、これもちまして、令和7年度第1回認定委員会を終了させていただきます。

本日は長時間にわたり、また予定時刻をオーバーしての、皆さんご議論いただきまして、誠にありがとうございました。

では、こちらで終了とさせていただきます。ありがとうございました。